

こどもまん“なかま” 加入企業・団体 になりませんか



こどもまん“なかま”の取り組みとは？

北九州市全体で「こどもまんなかcity」を実現するため、子どもや子育て当事者に優しい取り組みをする企業や団体の“なかま”を増やし、「面」として市内に広げていくことです。

こどもたちの育ちを
まちぐるみで応援！



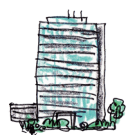
仕組み

右記のメニューの中から、一つ以上のアクションを実践する企業を「こどもまん“なかま”」と認定し、特典を付与します。

●なかま特典●

北九州市

- ①登録証+ステッカー
- ②企業名や取り組みをホームページ等に掲載
- ③市の契約における総合評価落札方式での加点評価



なかま特典



申請



▲加入は
コチラから

企業・団体

●アクション●

「こどもまん“なかま”メニュー」から一つ以上を実践



子ども・子育て当事者



こどもまん“なかま”メニュー



I
こどもの
夢を
かなえ〜

①まちごと職業体験
企業での職業体験の受け入れ など

②こども事業支援
寄付金や自社製品の提供 など

③こどもイベント支援
イベントへのブース出展、ボランティア など



II
やさしい
サービス
とどけ〜

④わらべの日
毎月第2日曜日、中学生以下の子どもの対象に割引等を実施

⑤こども育み支援
子ども食堂や、子どもや子連れに優しい環境づくり など

⑥こども見守り支援
子どもの見守り活動や車内放置防止アナウンス など



III
うれしい
スペース
あふれ〜

⑦こどもまちなかスペース
店舗の空きスペースを提供

⑧赤ちゃんの駅
授乳やおむつ替えスペースを提供

⑨こどもまんなか駐車場
子連れの人などの優先駐車場設置

加入企業さんの声 (株)ゆめマート北九州

「子育て世代のお客さまに何かできることがないか」と考えていた時に、社会全体で子育てを応援しようという北九州市の取り組みを知り、こどもまん“なかま”に加入しました。加入後は現場からも積極的にアイデアが出るなど、地域貢献に対する社内の意識が高まっていると感じます。

こどもまん“なかま”の取り組みは、それぞれが点在しているだけでは完成形とは言えず、点同士が手を取って「面」にしていくことが大切だと思っています。企業や団体がお互いに付加価値を模索し、意見交換し、好事例などは横の連携でさらに質を高める。一緒に地域全体を盛り上げることで「お客さまへの還元」を実現することも、私たちに求められていることだと思います。



管理部長 林益生さん

店舗内に設置された、売上の一部が子ども支援団体に寄付される自動販売機



子どもの館 来場者1400万人達成！

赤ちゃんから高校生まで安全・安心に楽しく遊び交流できる場、子育て情報の収集・発信の場として平成13年11月にオープンし、今年8月23日に来館者1400万人を達成しました。



子どもの館

八幡西区黒崎三丁目15-3
コムシティ7階 ☎642・5555

開10～19時
休不定期



▲ホーム
ページ



「どこでも万博」に 参加しました



北九州市は8月27日、「スペシャルキッズ未来構想チャレンジコンソーシアム」が主催する「どこでも万博」に行政機関として初参加しました。

このプロジェクトは、病気や障害などで外出が難しい子どもたちを対象に、大阪・関西万博のパビリオン(イタリア館)内を、アバターロボット※を通じてリアルに体験してもらうものです。



▲八幡病院
ファミリールーム

イタリア館の
屋上の庭が好
きでした

イタリアの方と「チャ
オ」とあいさつがで
きうれしかったです



▲八幡特別支援学校教室

※遠く離れた場所から操作することで、あたかも自分がその場にいるかのように行動できるロボット

☎保健福祉局障害者支援課 ☎582・2424

インクルーシブ遊具 体験会を開催しました



北九州市では、障害の有無にかかわらず「すべてのこどもが主役になれる」公園づくりに向け、子どもや保護者の意見聴取に取り組んでいます。その一環で、9～10月の約3週間、山田緑地(小倉北区山田町)でインクルーシブ遊具の体験会を開催しました。

体験会などで寄せられた意見を基に、今後、モデル公園の計画づくりを行います。



障害のある弟
と一緒に遊べ
てうれしい！



☎都市戦略局緑政課 ☎582・2466

この特集に関するお問い合わせ 子ども家庭局総務企画課 ☎582・2280